

# ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報

第58号

令和8年夏  
(2026年)

## 先代住職の13回忌



去る5月24日の日曜日、午後3時半から先代住職の和田良信上人の十三回忌法要を当山の本堂で営みました。

三宝院住職の岡平英明上人が導師を務め、檀徒と組寺の方々や親戚など総人数40名以上が参列しました。5年前の7回忌では、コロナ禍のため身内だけで行いました。それだけに今回、良信上人に縁のある方々が一堂に会することができて大変嬉しく思いました。法要に先立ち、大広間には多くの檀家の方々が集い、良信上人の思い出を話していました。

法要の後に墓参をしましたが、大勢で山の墓地上ると危ないので家族だけで行いました。

法要の後に鐘楼の撞初式（つきぞめしき）を行い、その後車に分乗してお清めの会場である蓮岱館に向かいました。

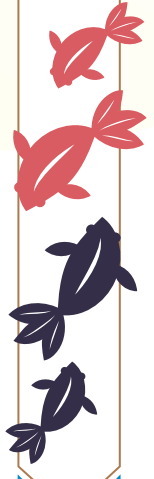
お清めでは住職がまず挨拶をして、続いて筆頭総代の小沼洸一郎さんが献杯の発声をしました。その後、檀家の方々は和やかに歓談して良信上人の思い出などを語り合いました。また久しぶりに顔を合わせた親戚の人たちもいて、



先代住職の13回忌法要が営まれました

法要とは家族や親戚だけでなく縁のある方々の同窓会のようなものだと思います。最後に深井総代が終わりの言葉を述べて、鐘楼の撞初式も併修した十三回忌法要を終えました。

## 鐘楼の撞初式



鐘楼の本体工事は3月末に竣工しました。その後4月には、周囲の庭園整備を行い、工事がすべて終了しました。

先代住職の13回忌法要を営んだ後、鐘楼の撞初式行いました。まず鐘楼の前面に祭壇を設け法要を行いました。法要の際に、住職が表白を読み上げました。表白では、近年の鐘楼の老朽化にともなう今回の再建の意義を述べるとともに、梵鐘が大戦中の供出を免れた貴重な文化財であることを強調しました。

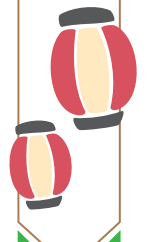
法要の後、住職を先頭に総代4名と工事関係者4名が鐘楼に向かう通路の右側に並んだあとで鐘楼に登り、鐘を中心に反時計回りに鐘を取り囲むように立ちました。

まず住職が、捨て鐘を3回撞きました。続いて総代と工事関係者が鐘を撞き、最後に住職が留め鐘を3回撞いて撞初式を終えました。立ち会った皆様は、元禄から伝わる三百年以上の歴史を持つ鐘の美しい余韻を聞き入りました。



鐘楼の撞初式を行いました

## 三遊亭歌橘さんの落語



去る4月29日の昭和の日に、恒例の春の野点を境内で行いました。その後、本堂で落語を行いました。本堂の内陣に境内のイスを2つ並べて高座を作り、緋毛氈を敷きました。

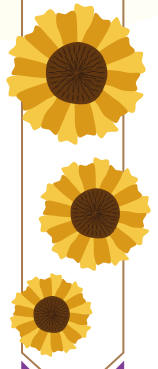
まず前座として、門下生の三遊亭ちゅう助さんと三遊亭七光さんが落語を行いました。その後、足利市出身で栃木県初の真打になった三遊亭歌橘さんが登場しました。

最初に「枕をふる」と言って、最近の世相や近況についての話をしましたが、その時から本堂は爆笑に包まれました。さすが真打という感じがしました。その後、『宗論』という、お寺にふさわしい宗派による論争をネタにした落語を演じました。「宗論はどちらが負けても釈迦の恥」との言葉がありましたが、宗派でも宗教でも寛容が大切だと説いているようです。



三遊亭歌橘さんの落語

## 獅子舞を行いました



落語に先立って、岩崎雄一さんの獅子舞を行いました。岩崎さんは櫻川流の獅子舞の演者で、この辺りでは数少ない獅子舞を演じることのできる人です。

最初に獅子舞で使う獅子について説明しました。その後、本堂の内陣をいっばいに使って、獅子舞を披露しました。獅子舞というと立って獅子が舞うことを思い浮かべるようですが、さすが櫻川流を習ってきてきているだけに、座ったり寝転がったりとかなりアクロバットのような舞を披露して観客から声援が飛びました。

終盤には、掛軸を加えて落語の高座に上がり、掛軸をほどくと「無病息災」の字が現れ観衆は拍手喝采を送りました。



岩崎雄一さんの獅子舞

### A. 管理費の会計報告

収 入	532/561家	7,526,000円
支 出		6,810,971円
支出内訳	庭園管理費	2,503,000円
	墓地管理費	2,022,420円
	清掃委託費	1,683,000円
	宮繕費	355,000円
	備品消耗品費	79,248円
	通信費	168,303円
差 額		715,029円
繰 越 金		1,487,126円
合計差額		2,202,155円

### B. 護持会費の会計報告

収 入	535/565家	1,653,000円
支 出	(樹木の枝打ちや伐採)	847,000円
差 額		806,000円
繰 越 金		2,002,239円
残 高		2,808,239円

\*管理費と護持会費の黒字は、今年度の会計において鐘楼建設費に充当します。

昨年度の管理費と護持会費の決算報告をします。

## 令和7年度の会計報告



# 法玄寺

## 千灯供養と百万遍修行&バイオリンの夕べ



深井淳さん

恒例の秋の夜の行事である千灯供養を一切精霊祭壇前で行い、つづいて本堂で百万遍修行を行います。その後、深井淳さんによるバイオリンコンサートを行います。なお特別ゲストもお呼びしているので、ご期待ください。

無料でどなたでも参加できますので、皆さまお誘い合わせのうえお越しください。



千灯供養

**日時** 10月3日(土)

6時より千灯供養、百万遍修行、バイオリンコンサートを行います。

(雨天の場合には、千灯供養は行いません)



百万遍修行

**場所** 法玄寺 境内と本堂

**バイオリン奏者** 深井 淳さん

**その他** スペシャルゲスト

**参加費** 無料

**駐車場** 足利大学本城キャンパス駐車場、織姫神社前駐車場  
※境内には関係車両しか入れません

お問い合わせ (0284) 21-2790

スペシャルゲスト

